

企画上映

今回の新規制作証言映像は、日中戦争で受傷された方から終戦後、シベリア抑留された方まで幅広い時代の中でご苦労なされた方々の貴重な体験を上映します。

●上映時間／10:00～17:00 (連続上映)

『シベリア抑留、そして結核…それを支えた妻』

証言者／崎野 保己・富恵 ○陸軍 (16分11秒)

関東軍経理部693部隊の軍属として満洲に勤務。昭和20年に臨時召集され終戦を迎える。その後、シベリアのレチホフカへ抑留され、収容先で肺結核を発症。3年4か月の抑留生活を経て帰国。仕事は、病気の再発による入退院の繰り返しで苦労した。妻は洋裁学校に通い、洋裁店を開いて生活を支えた。

体験記／崎野 保己「シベリア抑留生活の記」
日本傷痍軍人会編『戦傷病克服体験記録』平成12年
崎野 富恵「冷たくなった子供を背負って」
日本傷痍軍人会編『戦傷病克服体験記録』平成12年

『四肢を火傷…二度と操縦桿を握れなかった』

証言者／新本 積 ○陸軍 (14分19秒)

『三回の入院を乗り越えて』

証言者／池田 克文 ○陸軍 (13分49秒)

『一昼夜の恐怖に耐えて』

証言者／南郷 清 ○陸軍 (13分31秒)

『小学校を出て先生に』

証言者／藤谷 民男 ○海軍 (15分28秒)

戦傷病者の労苦を語り継ぐ



帰国時に使った背負い袋

関連図書

図書コーナーでは、企画展に合わせて、関連図書を紹介します。

●体験記『生かされて』(池田 克文)

戦争体験の和歌と戦後教員として活動した時書きつづった作品をまとめた。ブックカバーのさし絵は夫人の作。

●画集『白衣画集』(三上 卯之介)

傷痍軍人が描いた白衣勇士の療養生活。

